

認定書

国住参建第 4035 号
令和 8 年 2 月 18 日

フネンアクロス株式会社
代表取締役 稲葉 久敬 様

国土交通大臣 金子 恭之

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

- 認定番号
PS060WL-1198-3
- 認定をした構造方法等の名称
繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／膨張黒鉛混入水酸化アルミニウム系耐熱シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
- 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。
令和 7 年 10 月 1 日より大臣印の押印が廃止されております。

別 添

1. 構造名：

繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／膨張黒鉛混入水酸化アルミニウム系耐熱シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ267mm以下)
	面積	0.056m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		78.8%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0046、FP060NP-0049、FP060NP-0075、FP060NP-0185、FP060NP-0189、FP060NP-0192、FP060NP-0233、FP060NP-0250、FP060NP-0258、FP060NP-0294、FP060NP-0345、FP060NP-0360、FP060NP-0379、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、FP060NP-0427(1)、FP060NP-0427(2)、FP060NP-0441(1)、FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454、FP060NP-0485、FP060NP-0487、FP060NP-0497、FP060NP-0504(1)、FP060NP-0504(2)、FP060NP-0516) 注) 枝番号が付された大臣認定を含む 厚さ 42mm以上

3. 構成材料の仕様：

構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 構成材料の仕様

項 目	仕 様	
充てん材 (熱膨張性耐熱シール材) 商品名：I S Zパテのみ	材料	膨張黒鉛混入水酸化アルミニウム系耐熱シール材
	組成 (質量%)	非公開
	密度	1.48(±0.15)g/cm ³
	充てん量	開口に密に充てん (壁厚さ42mm以上充てん)

表3 配管の仕様

項目		仕様		
配管	耐火二層管	材料	繊維混入セメントモルタル	
		形状	円筒	
		組成 (質量%)	セメント：1)、2)又は組合せ	75(±10)
			1)ポルトランドセメント(JIS R 5210)	
			2)エコセメント(JIS R 5214)	
			無機質混和材・軽量骨材	21(±8)
		有機質繊維	4(±2)	
	ただし、無機質混和材：非公開			
	軽量骨材：	〃		
	有機質繊維：	〃		
	密度	1.4(±0.3)g/cm ³		
	寸法	呼び径	20～200 [近似外径φ38～φ237mm]	
		厚さ	5.5～8.5mm	
表面処理材	材料	仕様：あり又はなし アクリル樹脂系		
	質量	90g/m ² 以下		
内管	材料	種類：①、②又は③		
		①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742)(VP、HIVP又はVU)		
	寸法	②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT)		
③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP)				
	形状	呼び径	20～200 [基本寸法φ26～φ216mm]	
		厚さ	1.8～11.0mm	
空間成形材	形状	シート又はリング		
	材料	仕様：あり又はなし		
		種類：①、②又は③		
		①	非公開	
		②		
		③		

4. 構造説明図：
構造説明図を図1示す。

単位 mm

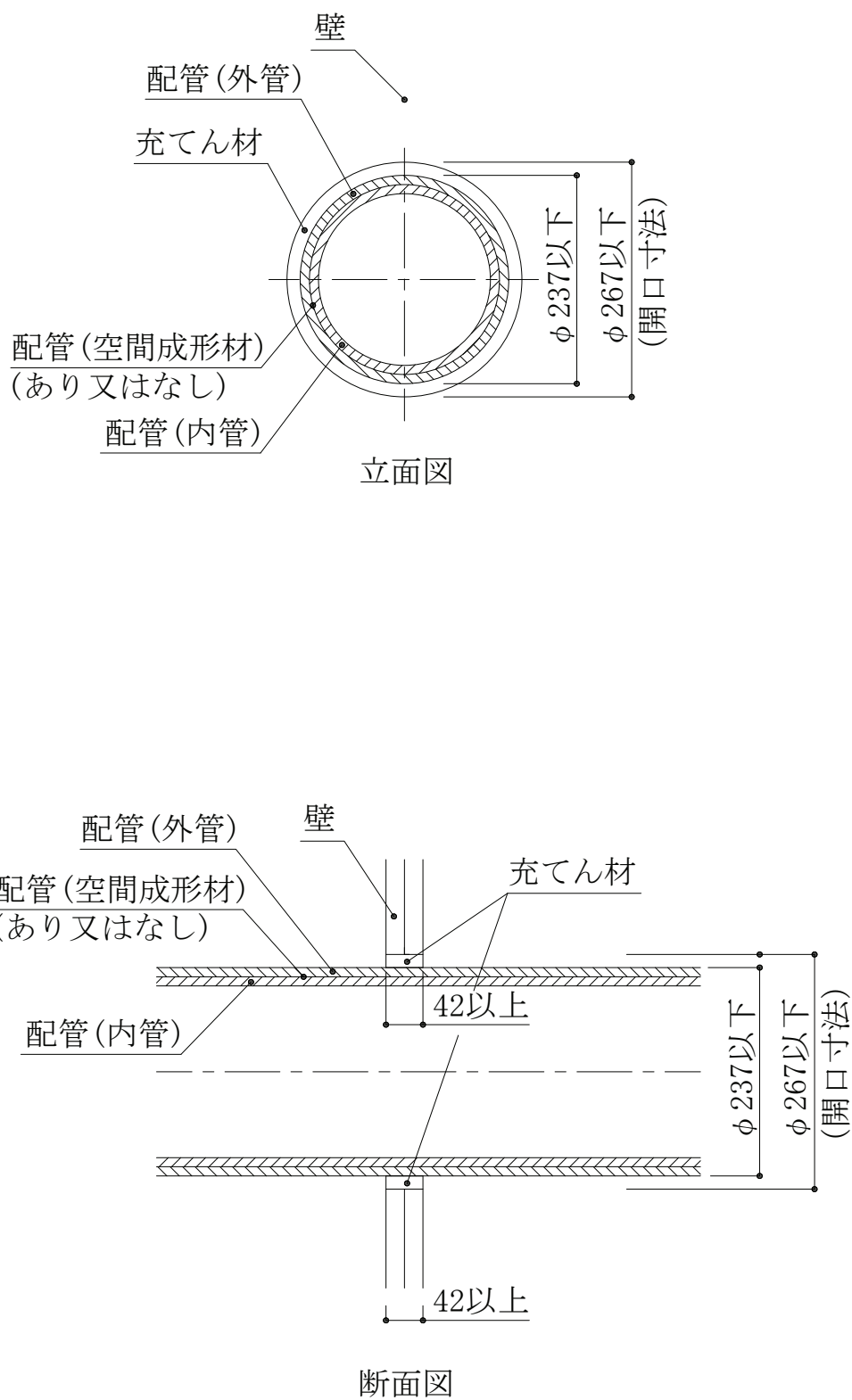


図1 構造説明図 (施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 配管材料の受入とサイズ・数量の確認及び運搬・保管

[受入とサイズ・数量の確認]

受入時は、表示された品名、呼び径、数量などが適合しているかを確認する。

(2) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズ・本数を調べ、開口面積・占積率を確認する。

(3) 貫通部の埋め戻し

配管と開口部の隙間に膨張黒鉛混入水酸化アルミニウム系耐熱シール材を壁厚さ 42mm 以上充てんする。必要に応じて、表面に盛り上げ施工とすることができる。